

西光寺だより

第二二一号 令和二年 九月一日発行

暑い夏が終わりようやく九月になりました。

今年の夏は、本当に暑かったです。梅雨明けが遅く、その分暑さが増した印象でありました。毎年、熱中症に注意するようよびかけられていますが、多くの方に影響がありました。直射日光を避けながら、水分補給と本当に大変でありました。

さらにコロナ禍の中ということもあり、マスクをしながらの生活でありました。私たちもマスクをつけながらお参り・お勤めをしていることであります。本当に慣れることはありません。

熱中症の注意を喚起しながら、コロナ禍の密にならないよう部屋を換気する、そんなあわただしい初めての夏でありました。

そして九月は、在家報恩講であります。親鸞聖人のご遺徳を偲び、お逮夜参りをいたします。

くしくもおよそ八〇〇年前、親鸞聖人の時代にも疫病の記録が多く残っています。かつて改元（元号を改めること）は天皇の交代のほか、大きな天変地異や戦乱、疫病の流行が機縁でありました。聖人存命中には、三五回の改元のうち、九回の契機が天然痘や麻疹等の流行であります。これらのほかにも赤痢や風疹、流感等の記録があり、疫病の不安が日常の時代であったといえます。そして今の社会もそうであります。そんな混迷を極めた中であつても、不安や悲しみのまま抱き止めてくださる阿弥陀さまをよりどころにされておられました。

「われにまかせよ、わが名を称えよ、浄土に生まれさせて仏にならしめん」という阿弥陀さまの願い。私たちを救わんとしてつねに寄り添い、われにまかせよとはたらき続けておられる（他力）。その阿弥陀さまにおまかせして、念仏を申しつつ、浄土への道を疑うことなく歩ませていただく（信心）。

親鸞聖人が示された道は、今の私たちにもそのままあてはまることであります。そして、そのご恩を報ずる法要、報恩講。

他力の信心を得て浄土の往生を決定することこそ、親鸞聖人のご恩に対す

るなによりの報謝となります。

そのご縁を味わいつつ、お勤めさせていただきたいと思っております。そして、浄土真宗とご縁があったおかげでこうして皆さんと出会えていることに感謝であります。

合掌

◆先月の報告◆

①八月一日（土）西光寺本堂にて木村家初参式を行いました。コロナ禍の中、短い時間ではありましたが、新たな命の誕生を、仏さま（ご先祖様）にご報告させていただき、いのちのつながりに改めて感謝の時間でありました。皆さんおめでとうございます。そして、ありがとうございます。



②八月十五日（土）西光寺本堂にて盂蘭盆会法要を行いました。コロナ禍の中、消毒・換気をし、皆さんでゆっくり阿弥陀経のお勤めをしながら、いのちの歴史の上に今がある尊い時間を、お焼香の香りを味わいながら過ごさせていただきました。

皆さんとこのようにして本堂に集まっていたいただき共に同じ時間を過ごす、

およそ四か月ぶりのことであります。本堂に響き渡る声を聞きながら、すがすがしいお勤めであります。改めて、普通だったことが、こんなにも特別なことだったんだと感じたことであります。

『幸せは探すものではなく気づくもの』
これからもいろいろな気づきに出会い、感謝の日々を過ごしたいと思っております。



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺
大阪府茨木市西河原一七七一
電話 〇七二一六二二一四七九四
FAX 〇七二一六二二一九二九一
<http://www.osaka-saikouji.net/>

◆十一月の行事◆

・十月 一日 (木)

秋季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎布教使 宮部 誓雅 師

※なお、感染症対策のため変更になるかもしれません。

ご了承のほどよろしくお願いいたします。

・十一月 二十三日 (祝・月)

報恩講法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎布教使 和氣 秀剛 師

※なお、感染症対策のため変更になるかもしれません。

ご了承のほどよろしくお願いいたします。